2020.11.25　乃木坂スクール

行政マンはミタ！

介護現場の光と影

静岡県社会福祉協議会 常務理事　髙橋邦典
静岡県社会福祉士会　会長
元静岡県健康福祉部　理事

介護・福祉との関わり

年代	年齢	職　　歴（静岡県庁）	家　　族　　歴
S50年代	２０代	生活保護 身体障害者福祉	
S60年代	３０代		**祖母が認知症発症** 在宅介護 ⇒ **老人病院入院** ①
H10年代	４０代	**介護保険（施設整備）** ② **介護保険（事業者指導）** ③	**母の障害重度化** **在宅介護** ④
H20年代	５０代	**介護保険（事業者指導）** ③ 高齢者福祉 地域福祉	⇓ **施設入所** ④
H30年代	〃	県社協出向 地域福祉全般	父の見守り

ターニングポイント①

1 祖母の認知症発症

（昭和60年頃～）

▼在宅介護 » 動ける認知症 »

対応できない家族 » 症状悪化

▼老人病院入院

▼**両手両足を縛られた姿 » 「紐を解いてくれ！」**

(写真はイメージ)

▶**なす術なく、逃げるように帰った**

▶**今も残る罪悪感**

ターニングポイント②

2 「個室ユニットケア」との出会い

集団処遇をしたくない　（平成13年～）

お年寄りを笑顔にしたい

ユニットケア　＝　個別ケア　との遭遇！

入居者一人一人の「個性」と「生活リズム」を尊重したケア

カルチャーショック！

介護の質の向上に目覚めた原点

「自分の大切な人を、その施設に入れたいか？」

ユニットケアの産みの親

外山　義氏　元京都大学大学院教授

「**個室ユニットがあれば、ユニットケアができるわけではない。ケアが変わらなければ、個室ユニットは独房になる。**」

「**ユニットケアとは、お年寄りが自分自身を取り戻して、初めてその人らしい欲求が出せる。それを個別に応えていく介護のことである。**」

武田和典氏　元特養シオンの園施設長・きのこ老健副施設長

「**ユニットケアは目的ではない。その人らしい生活をするための手段、方法の一つに過ぎない。**」

「**何のためにユニットケアをするのかがしっかりとないと、ユニットケアは意味がなくなるばかりかマイナスになる。**」

ターニングポイント③

3 事業者指導（支援）力の向上

ア 背景 （平成20年～）

介護保険バブル　　**３兆円→10兆円市場**

黙っていても客が来る　　**売り手市場**

介護の質の向上につながらない構造

イ コムスン不正事件以降

２年に一度の実地指導　⇒　**行政が現場を知る**

悪質事業者排除の強化 ⇒　**正直者が馬鹿を見てはならない**

ウ 県庁の体制改革 （平成２２年～）

出先機関の一元化 ＝ 県内７センターを本庁集約

課内情報の一元化 ＝ 課員30人の書類決裁

経　　歴

年度	所　　属	役　　職
H20	健康福祉部長寿政策局**介護保険室**	**主幹**
H21	〃	〃
H22	健康福祉部福祉長寿局**介護指導課**	**介護指導監**
H23	〃	**参事**
H24	〃	〃
H25	〃	**課長**
H26	健康福祉部福祉長寿局**福祉指導課**	〃
H27	健康福祉部**福祉長寿局**	**局長**
H28	〃	〃
H29	〃	〃
H30	**健康福祉部**	**理事　（県社協事務局長）**
R1	健康福祉部**福祉長寿局**	**参事　（再任用、県社協事務局長）**

実地指導の状況

●実地指導の頻度（上位抜粋）　(H27.9全国調査)

都道府県名	施設系の頻度（1回/○年）	居宅系の頻度(1回/○年)
北海道	2	6
青森県	2	–
栃木県	2	3
愛知県	2	–
静岡県	**2**	**2**
香川県	2	6
高知県	2	–
大分県	2	–
熊本県	2	–
宮崎県	2	5

（出典： 奈良県調査　；　「－」は、不定期 又は 必要に応じて行う。）

行 政 処 分 の 状 況

●介護保険法に基づく行政処分件数　（H22～24･都道府県集計）

（単位：件）

順位	都道府県名	改善命令	効力停止	取消	合計
1	静岡県	5	16	24	45
2	徳島県	0	0	27	27
2	大阪府	0	8	19	27
4	熊本県	0	0	21	21
4	石川県	0	13	8	21
6	東京都	0	4	16	20
6	和歌山県	1	4	15	20
	全国計	10	127	217	354

（出典：厚生労働省集計）

厚労省からの依頼

■国の研修会講師

○H24、H25、H30

都道府県、指定市・中核市、市町村の介護保険指導担当職員対象

テーマ『取消事例から監査手法を学ぶ』

■各種検討会(老健事業)の委員

○H25　通所介護のあり方検討委員会（座長　栃本一三郎氏)

○H29　ケアマネジャーの資質向上検討委員会　(座長　福井小紀子氏)

○H30　身体拘束ゼロ推進研究会　(座長　大森　彌氏)

ターニングポイント④

4 母　の　障　害　重　度　化

（平成17年頃～）

▼加齢に伴い、身体障害の重度化
▼居宅サービスのフル活用
▼仕事と介護の両立が困難
▼サービスの質の低さに、情けない思い
　»「親を入れたい施設がない!!」
　»「**自分は何をしてきたのか？**」

▶ **本人は絶望！　家族は無念！**

立　ち　位　置

同じ介護保険制度でも、歴然としたサービスの質の差

■劣悪なサービスでも、物言えぬ本人、家族の声なき声の代弁者

■現場から学び、常に利用者の立場で、ケアの向上を目指す

悪いものは悪いと指摘してなお、
良い介護を示すのが行政の使命

施 設 ケ ア　～ 介護保険前 ～

項　目		過　去　の　状　況
ハード	立　地	人里離れた、隔離施設
	雰 囲 気	中は暗く、無機質なコンクリートの壁。独特の臭い
	居　室	両側に並ぶ大部屋。寝間着で、寝たきりのお年寄り
	食　堂	体育館のように広い食堂。一斉の食事
ソフト	介　護	日課、時間で区切る流れ作業、数や量として扱う集団処遇
	食　事	立ったまま、何人もの食事介助 スプーンでご飯もおかずも、薬も混ぜて、口に突っ込む
	排　泄	オムツの定時交換
	入　浴	廊下に半裸で、車椅子の行列 流れ作業－脱がす人、洗う人、着せる人
	移　動	一斉に車椅子の民族大移動
	表　情	会話・笑顔がない無表情のお年寄り・職員

施 設 ケ ア　～ 介護保険後 ～

『介護の「質」に挑む人々』（加藤仁、中央法規出版）

介護の世界は進化しているどころか、退行しているのではないか。（略）

介護保険が実施された2000年前後から**施設の数が急増し、**とりわけ新設の施設では**おざなりの介護が横行**するように見受けられるようになった。

それればかりか以前よりも介護の質を下げていく従来の施設も少なからずあった。（略）

厚生労働省の定める最低限の基準を満たすだけで良しとし、そこでは質が問われることなく、形ばかりの介護が行われている。

その動機や実践から察して、質の高い介護に思いをめぐらせると、自分たちの仕事が増えると考えているふしさえうかがえる。

熱き意欲のもと介護の仕事に就いた若い人たちが、短期間に次々と辞めてゆき、職員の定着率が低くなっていることも私には気になる。

仕事を続けるにしても、自分の情熱を封じ込めたり、感性を麻痺させたりしなければ勤められないようでもある。

それに対して介護を受ける当人やその家族から批判が出てくるのでもない。（略）

その身を施設に預ける側からすると、波風を立てない方が不当な扱いをされないという良識も働く。それをいいことに介護が停滞してしまったようである。

ケアの質向上のために

1 開催趣旨

	2000年	2010年	2018年
事業所数(箇所)	1,806	7,746	8,231

介護事業所数は
4.6倍
※みなしをのぞく

■多くの現場では・・・
○**集団処遇が漫然と行われている**
○ベッド上での食事や排泄、オムツの定時交換、機械浴が日常の光景として見られ、職員がそれを仕方のないこととして受け止め、**疑問を抱かない**
○そのようなケアが、**お年寄りの生きる力をしぼませ**、寝たきり、認知症のお年寄りを作っていることに対して、**自覚がない**
○**「自立支援、ADLの維持・向上」の意味をはき違えて**、更衣、食事など、お年寄りに指示するだけで、**職員がお年寄りに寄り添っていない**
○業務をこなすことが仕事とされ、**お年寄りの「生活」は置き去り**にされている

■少数の現場では・・・
「お年寄りのために、
その人らしい暮らしを支えるケア＝個別ケア」
に真剣に取り組んでいる

【より良い高齢者ケアを考えるセミナー】
○ケアの向上を目指し、現場で努力されている第一人者の講演
⇒**より良い高齢者ケアを考え、実践するための刺激**とする機会の提供

目指すのは・・・
★高齢者が人生最期の時に
幸せを感じる介護
★夢を持って介護現場に来た若者が**やりがいを感じる職場**

より良い高齢者ケアを考えるセミナー

② 開催実績

年度	講　師	テ　ー　マ
H23	髙 口 光 子	生きる力を支えきるケアとは？　～個別ケアを考える～
H24	竹 内 孝 仁	これからの介護に求められる質とは？
H25	武 田 和 典	なぜユニットケアだったのか？
H26	稲 川 利 光	その人らしさを支える　～介護･リハビリの心と力～
H27	青 山 幸 広	お年寄りに元気になってもらうためのワザ
H28	三 好 春 樹 金田由美子	老人主体の介護を始めよう　～介護の魅力、新３Ｋ～ 私たちが受けたい介護とは？
H29	石 山 麗 子	適切なケアマネジメント手法（ケアマネジメントの標準化）
	髙 口 光 子	介護の中で看取るということ～生活支援の場のターミナルケア～
H30	惣万佳代子 髙 橋 邦 典	炸裂！ソーマン節!!　介護現場の今を斬る！ より良い高齢者ケアとは？　～日本一の取組～
R1	石 飛 幸 三	平穏死･穏やかな最期を迎えるために～特養常勤医の覚悟～
	石 井 英 寿	「ありのまま、その人らしさ」を支える～いしいさん流介護の秘訣～

自ら作り、育てたセミナーで、最後の講演

盟友惣万さんとの対談

優良介護事業所表彰制度の創設

介護人材の確保やサービスの質の向上に向け、職員が働きやすく、働き甲斐のある職場づくりや、利用者本位のサービス提供に、積極的に取り組む事業所を、知事が表彰する。

【表彰部門】

●職場環境改善部門　●サービスの質向上部門

表　彰　式

発　表　会

介護は希望の光

俺達、働き隊
認知症を見守る?
いや、俺達は
もっと外へ、もっと社会
働く、そして稼ぐ!
憩の家みち
0548-28-0223
090-6467-2426

令和元年度
静岡県優良介護事業所表彰式・事例発表会

地域包括ケアシンポジウム

平成30年度静岡県

地域包括ケアシンポジウム

『平成』最後の豪華共演！

『地域共生社会』への挑戦

「地域共生社会の実現」に求められる地域包括ケアの推進には、制度の縦割りを乗り越え、地域住民や地域の多様な主体が参画し、つながることが重要となります。
本シンポジウムでは豪華講師陣とともに「地域共生社会の実現」に向けた地域包括ケアのあり方について協議します。

10月29日(月)

13:15～16:15 開場12:30より

- 場所：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ中ホール
- 住所：静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
- 参加費：無料　お申込：FAX、メール、郵便ハガキ
- 定員：700人（定員になり次第、締め切らせていただきます）
- 対象：関心のある県民、行政、社協、地域包括支援センター、福祉施設・事業所、民生委員・児童委員等

基調講演 13:30-14:00

「最期まで地域で暮らすために」

講師：堀田 力氏(公益財団法人さわやか福祉財団会長)

対談 14:15-16:15

「地域におけるケアのあり方」

◎樋口 恵子氏
(NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長)
◎大熊由紀子氏(国際医療福祉大学大学院教授)
◎上野千鶴子氏
(認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長)
◎堀田 力氏(公益財団法人さわやか福祉財団会長)

樋口恵子氏

大熊由紀子氏

上野千鶴子氏
撮影：菅野勝男

堀田 力氏

【主催】社会福祉法人静岡県社会福祉協議会、さわやか静岡、静岡県
【後援（予定）】静岡県医師会、静岡県医療ソーシャルワーカー協会、静岡県介護支援専門員協会、静岡県介護福祉士会、静岡県看護協会、静岡県市長会、静岡県社会福祉士会、静岡県精神保健福祉士協会、静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会、静岡県町村会、静岡県薬剤師会、静岡県老人福祉施設協議会（50音順）

児童虐待死事件を受けて

静岡県の未来を担う宝である子どもたちへ「児童虐待防止に向けた緊急メッセージ」を発信しました。

子どもの尊い命が奪われる、痛ましい児童虐待事件が続発する深刻な事態となっている中で、子どもに関わる機関と団体は、より一層の連携を強め、児童虐待防止に全力を注ぐとともに、静岡県の未来を担う宝である子どもたちに、安心して安全に暮らすことができる社会づくりを約束するため、県民一人ひとりに理解と協力をお願いする緊急メッセージを発信しました。

児童虐待防止に向けた緊急メッセージ

児 童 虐 待 防 止 に 向 け た 緊 急 メ ッ セ ー ジ

平成31年３月５日

私たち子どもに関わる機関と団体は、子どもたちの笑顔を守るため、より一層の連携を強化し、虐待の早期発見・早期対応に取り組みます。そして、子育て家庭が地域から孤立することがないよう、積極的に子育て家庭に支援の手を差し伸べていきます。

発信者　児童虐待防止静岡の集い実行委員会

（構成団体・順不同）

静岡県社会福祉協議会、静岡県児童養護施設協議会、静岡県、静岡市、浜松市、静岡県里親連合会、静岡市里親会、浜松市里親会、静岡市里親家庭支援センター、静岡県乳児院協議会、静岡県母子生活支援施設協議会、静岡県児童家庭支援センター協議会、静岡県民生委員児童委員協議会、静岡市民生委員児童委員協議会、浜松市民生委員児童委員協議会、静岡県保育連合会、静岡県知的障害者福祉協会

計17団体

児童虐待防止に向けた緊急メッセージ

1　こどもたちへ

- おうちのなかで、たたかれたり、ごはんをたべさせてもらえなかったりしていませんか。
- こわい、かなしいとおもうことはありませんか。
- なやみやこまっていることがあれば、「１８９ばん」や「おまわりさん」にそうだんしてください。

2　保護者の皆さんへ

- 誰でも生活の苦しさ、子育てへの不安など、様々な悩みごとがあると、心が押しつぶされそうになってしまうことがあります。
- そんな時、つい、子どもにつらくあたってしまうことがありませんか。
- 悩みを一人で抱え込まず、１８９番や市町の相談機関、地域にいる民生委員・児童委員にご相談ください。
- 一緒に考えましょう。

児童虐待防止に向けた緊急メッセージ

３　県民の皆さんへ

- 児童虐待は、将来にわたって深い傷を与え、心身の成長や人格形成に大きな影響を及ぼします。
- 泣き声や怒鳴り声が聞こえる、子どもの表情が乏しく活気がないなど、気になる親子がいたら、１８９番にお電話ください。
- 連絡は匿名でもかまいません。
- 連絡したのが誰であるかを教えることもありません。
- ささいな異変でも「しばらく様子を見よう」と思う前に、ご連絡ください。

＃ 福 祉 職 に エール を

コロナ禍でも福祉は止まらない　静岡県社協がＰＲ動画

2020年6月５日　福祉新聞編集部

応援メッセージビデオ　福祉新聞記事

静岡県社会福祉協議会は５月１４日から、新型コロナウイルスの**感染リスクがある中福祉現場で働き続ける職員を応援するメッセージビデオを公開**した。

動画は２分２５秒にわたり、介護や障害者、保育園など県内７事業所で働く職員や利用者を画像で紹介。

緊急事態宣言によりあらゆる業種が休業しても、福祉現場では支援を続けている様子を説明しながら**「福祉は、止まらない」**と訴えた。

具体的には、**介護施設が高齢者の命と生活を守っている**ことや、**障害者施設ではマスク製作**をしていることをアピールした。また、**保育園では**医療や物流など**休めない仕事の家庭の子どもを預かっている**ことなども説明し、**「陰のヒーロー」**とたたえた。

多くの人に伝わるよう、メッセージや音楽など細部まで何度も検討したという。

動画作製の狙いについて、高橋邦典・同県社協常務理事は「メディアなどでは医療現場の大変さが強調されがちだが、**福祉現場も職員たちの使命感と責任感で成り立っている**ことを伝えたかった」と話す。

視聴者からは**「感動した」「涙が出てくる」「職場の皆に見せたい」**などの感想が寄せられたという。